

広陵町地域福祉計画関係団体等 アンケート調査結果報告書

令和5年 11 月

目次

1	調査の概要.....	1
	（1）調査の目的.....	1
	（2）調査の対象等.....	1
2	関係団体等の調査結果.....	2
	（1）基本目標1 地域で支え合う仕組みをつくる （地域活動・ボランティア活動に参加する人を増やす）.....	2
	（2）基本目標2 安心して暮らせる仕組みをつくる（近所で助け合える関係を築く）.....	7
	（3）基本目標3 いきいきと暮らせる仕組みをつくる（居場所づくり・交流の場づくり）.....	11
	（4）基本目標4 いのちを支える仕組みを作る（自殺対策計画）.....	15
	（5）その他の課題について.....	19

1

調査の概要

(1) 調査の目的

広陵町では、平成31年4月に策定した、「広陵町地域福祉計画」と広陵町社会福祉協議会の「地域福祉活動計画」の見直し、改定作業の一環として、これらの計画に沿った取り組みの成果や地域の福祉の現状・課題等について意見を把握するために、福祉に携わる団体等を対象としたアンケート調査を実施し、計画策定の基礎資料とすることとしました。

(2) 調査の対象等

本アンケート調査は、令和5年10月13日（金）から11月6日（月）までの期間で実施しました。

次の計25団体を対象に調査票を配布してアンケートを依頼し、そのうち18団体から回答が得られました。

	団体名	備考
1	民生児童委員協議会	
2	区長・自治会長会	
3	PTA連絡協議会	
4	広陵町保護司会	
5	更生保護女性会	
6	母子寡婦福祉会	
7	遺族会	
8	手をつなぐ育成会	
9	防災士ネットワーク	
10	人権擁護委員会	
11	シルバー人材センター	
12	身体障害者交流会	
13	医師会	
14	歯科医師会	
15	広陵町私立保育園・こども園協議会	
16	馬見南5丁目ちよっとお助け隊	
17	男の手料理	
18	おはなしポケット	
19	特定非営利活動法人 家族・子育てを応援する会	
20	馬見南4丁目ふれあい茶話会	
21	ボランティアグループこうふくかん	
22	コスモス会	
23	傾聴ボランティア「かぐや」	
24	特定非営利法人 つくし野会	
25	おしゃべりサロン南郷	

「広陵町地域福祉計画」の4つの基本目標ごとに、本調査で把握した福祉関係団体等からの意見は、以下のとおりです。

なお、寄せられた意見は、前記の団体名の記載順とは無関係に、ランダムに掲載しています。

(1) 基本目標1 地域で支え合う仕組みをつくる

(地域活動・ボランティア活動に参加する人を増やす)

問1 基本目標1の主要施策として、(1)地域福祉意識の高揚、(2)地域福祉活動・ボランティア活動の活性化、(3)支え合い・見守り体制の充実、(4)福祉活動の支援と連携強化、(5)社会福祉協議会への支援と連携強化に取り組んでいます。これらの施策に関し、貴団体として感じておられる現状や課題、今後必要だと思われる取り組みなどについてお書きください。

《感じておられる地域の現状や課題》

NO	記述内容
1	・地域行事が減り、以前は秋の体育大会、クリーンキャンペーンなどに嫌々ながらも参加し、その際会話することでコミュニケーションがあったが、人は人、地域はサービスを提供してもらえるところと認識が変わってきた。
2	・私どもの団体の活動に対してご理解いただき、常に案内チラシの掲示や設置等、情報提供してくださっていることに心より感謝しております。広陵町には多くの地域福祉活動、ボランティア団体が真摯に展開されています。ただ、住民にその活動が周知されていないのが残念です。活動の後継者不足も課題です。
3	・団塊の世代を中心にした高齢者層の人たちは、各地域での諸活動グループ（老人クラブ、婦人会、自警団等）へ積極的に参加し、協力してこられたが、それ以外の年齢層の人たちの参加者が極端に少なくなった。地域活動の後継者不足が生じている。
4	・地域活動やボランティア活動への参加は、まだまだ少なく感じます。
5	・老人会に入って、現在、役員をさせていただいています。月一度の老人福祉センター利用の日の参加者を増やせたらいいなあと思っています。現在は会員数の4分の1くらいの出席率です。
6	・下校時の見守りをしたいが、共働き家庭が増え、登校時の立哨のようににはできないのが現状である。
7	・高齢者になる前の一人暮らしの男性の孤独死に、近所でも誰も知らなかったことに何とも言えぬ心の痛みを感じました。

NO	記述内容
8	<ul style="list-style-type: none"> ・更女の団体としての存在を、町民が知っておられないため、もっとアピールしていかなくてはと。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・広陵町保護司会は定員数いますが、これから先やめていかれる方の補充に向けては、いつもいい方がいないか情報を集めています。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、通所施設、育成会等との関わりが全くない方についての把握ができていないのではないかと。 ・育成会会員を増やし、次世代を育てる。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的な傾向ではありますが、核家族化や共働き世代の増加などにより、子育てを含む日々の生活がより多忙になり、地域住民間のつながりがますます希薄になっていること。 また、SNSなどの普及や価値観の多様化により、異年齢間、とりわけ若者層とのコミュニケーションの機会がほとんど持てない状況であることなどが、地域活動やボランティア活動に参加する人が増えない要因になっていると思われます。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の一環としてサロンを運営しているが、参加はほとんど女性ばかりである。会を運営している者も参加者もあまり年齢に差がなくなっている。参加者自身が受け身でなく、会を盛り上げられるように持っていきたい。
13	<ul style="list-style-type: none"> ・馬見南5丁目は、広陵町の中でも特に高齢化が進んでいる地域です（真美ヶ丘全体として）。今まで自分で出来たことも、助けを借りないといけない状況になる人が増える傾向にあります。行政や業者に頼むまでもない、ちょっとした困り事を引き受ける仕組みが大事です。
14	<ul style="list-style-type: none"> ・私達寡婦福祉会の役員は、主人と死別し母子家庭になった時代に苦勞してこられた先輩方達に相談に乗ってもらい、自分事のように考えて動いてくださいましたが、私達がお世話になった方々の年齢になり時代も変わり、インターネット、スマホが普及し、何でも調べてできるようになったので、福祉員の役割もいらなくなり、人と人とのつながりも欠けてきましたので、会員さんの人数も減少しました。
15	<ul style="list-style-type: none"> ・若年層の参加が少なく、事業を行うにしても一部の偏った方の負担が大きい。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・個人差が非常に大きいと思います。地域もそうだし、委員会の委員自身にも意識差が生じており、何かしてもらえとの受け手側の期待が大きいと、自身で何かしたいという思いがなかなか出て来ない。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・会員の高齢化に伴い、会員数の減少傾向。また、役員さんも高齢のため会費徴収、配布物で苦勞しています。どこも同じですが、コロナ禍で会合の開催が減少してコミュニケーション不足です。 ・百済地区について、年寄りの悩みは買い物です。タバコを買うために2時間半かけて役場東のコンビニに行かれた方がおられました。買い物難民・弱者が増えています。50年前と変わらない百済地区の振興・活性化を望みます。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・70歳以下の人々の加入が、なかなかない。

【今後、町で必要だと思われる取り組み（行政への要望を含む）】

NO	記述内容
1	・人とのつながりを持つ企画、大きな催しではなく、地区でのコミュニティ環境を整えることではないかと思います。
2	・福祉活動やボランティア活動を知って地域住民が関心を持ち、活動に参加したり利用したり活性化するよう、情報提供を行政に担っていただきたいです。ボランティアセンターを作っていただきたいです。
3	・支え愛会議や各種委員会等への参加者の中に若い世代の人たちも呼び込んだ方が良い。成人式は、当事者世代の人たちで企画している。ボランティア活動に畿央大学生や中学・小学生も参加してもらえることも良いのではないかと。
4	・地域の行事やイベントに対しての協力、手助け
5	・住民全体で福祉に取り組み、誰一人取り残されることのない町づくりが望ましい。民生児童委員の皆さんにだけ任せては無理があると思う。地区の福祉委員は誰か分からない現況。
6	・広報こうりょうで、更女の活動を載せてもらいたい。様々な活動をされているボランティア団体を知ってもらう。参加してもらえる体制作りやお互いにつないでいく支援。
7	・各地域の民生委員さんや行政は、学校・通所施設・育成会等と関わりが全くない方の把握がどこまでできているのか？取りこぼしがないか？ ・災害が起きたとき、実際に要支援者をどうやって避難させるのか、具体案を示してほしい。
8	・行政当局としては、活動内容の工夫や広報活動に尽力されています。しかしながら、当局だけの工夫や努力だけでは、活動の活性化や充実・発展にはおのずと限界があると思います。実際に活動に参加されている方々が、活動を通してその必要性や意義、“充実感”などを、近隣の方々に伝えていただけるようなアイデアを考えていく必要があると思います。
9	・ボランティア活動とはいえ、運営面で自腹を切ってもらっていることも多い。1年間の援助費用を区か町からもう少し補っていただければ。
10	・年齢に関係なく、日常生活における困り事は誰にでもあります。その内容により、行政で対応すべきこと、地域で対応すべきこと、両者が協働して対応すべきことがあります。地域で対応すべきことは、ボランティアグループを立ち上げることです。
11	・母子家庭になられた方達もおられるので、言葉一つかけてあげたい、何か助けてあげたいとの思いですが、行政からは会員を増やすように言われるが家庭訪問したい、名前を教えてくださいと訴えると個人情報なので教えられませんと仰られたので、どうしたら良いのか？
12	・区長、自治会の働きかけ ・自主防の活性化
13	・微力でも一緒に何かしたいと思えるような事業や気軽に参加できるボランティアの周知の仕方を考えてほしい。

■現在、貴団体で取り組まれていること／今後、貴団体でできること■

NO	記述内容
1	・障害者（児）の集いを月1回しています。
2	・乳幼児の子育て支援は、さまざまな立場の方が連携して行うものであり、今後も心配な家庭を行政や関係機関の皆様と共に支援していきたいです。
3	・保育園・幼稚園児による野菜の収穫体験の場を提供している。収穫だけではなく、種まき、除草の体験もできたらと思うが、現状では困難。
4	・地域住民の交流
5	・傾聴ボランティアで現在取り組んでいることは、会員8名で月4回、2名の方の家に訪問させていただき、1時間お話を聴かせていただいています。会員は2名1組で行動しています。
6	・登校時の立哨。校区内巡視を行っている。今後も継続する。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・献血の啓発 PR 活動 ・町の環境保全推進員（美化活動） ・社協が配食する弁当作り（120食） ・各義援金の募金（街頭）活動他
8	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園のお手伝い（コロナ禍で中止になっています） ・なかよし広場
9	・町長や副会長にも、いつも協力をいただいています。感謝です。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・啓発活動として幼・小・中・高の児童・生徒対象に「この子らを世の光に」をスローガンに、鉛筆、消しゴムの販売と「知ってほしいなあ、わたしたちのこと」のリーフレットを配布（今年から教員対象に配布）。 ・かぐや姫まつり参加 ・毎月の定例会やサロンを開催し、会員以外の方との情報交換 ・福祉大会・セミナー等の参加
11	・人権相談、地域での人権該当啓発、学校への人権啓発活動（人権の花、人権作文、SOSミニレター、人権教室等）に取り組んでいます。難しい面もありますが、今後は福祉施設への訪問にも取り組んでいければと考えています。
12	・先日、子ども会との連携で昔の遊びを教え合いながら一緒に遊ぶ機会を持ったが、これからも子どもたちがもっと参加してくれるような企画をどんどん組み込んでいきたい。そして、顔を見たら挨拶し合い、どこの家の子という把握ができたらと思っている。
13	・地域の全住民を対象として、お困り事を解決しています。特に、高齢者からの依頼が多くあります。また子どもの見守りとして、登校時の立哨を毎朝実施しています。
14	・ホームページを立ち上げて、行事がある都度更新し、常に現行化を図りつつ会員募集に努めている。

NO	記述内容
15	・自分達の仕事の内容のPRや広報
16	・休業中です。

◇今後、地域や住民で取り組むべきこと◇

NO	記述内容
1	・振興券などを各家庭ではなく、地区行事にあてるなどはいかがでしょうか？
2	・地域住民が日常的に子育て家庭を温かく見守り、声かけしていただきたいです。
3	・老若男女、全世代が参加する地域活動、ボランティア活動
4	・見守り、声かけ、あいさつ
5	・まず、あいさつから。声を掛けてお話しできたらいいなと思います。
6	・既に民生委員さんやボランティアの方が見守りを行っていただいております、特にありません。
7	・まずは隣近所とのつながりを大切に、お互いのことを知る信頼関係を作ること。私の幸せも人の幸せも願って、困っている人に支援すること。
8	・お節介おばさんになろう！
9	・地域の中にどれだけ支援を望まれている人がいるのか理解しておくことと同時に、近所同士、折に触れて近況をお渡ししたりすることも心がけたいです。
10	・「自分たちの地域は、自分たちでより住みやすくしていく」という意識の高まりを図っていくためにも、実際に行っておられる活動等を、積極的に取り上げて広報していくことが必要です。
11	・真美が丘第一小学校区の「まちづくり協議会」では、健康福祉部会を設置し、現状の把握と今後の事業での展開を進めようとしています。
12	・防災意識の高揚のための啓発活動と訓練の実施。
13	・子ども達や学生を取り込んだ事業や活動を展開することで次の担い手を育てる。
14	・真美一まちづくり協議会の活動推進。

(2) 基本目標2 安心して暮らせる仕組みをつくる

(近所で助け合える関係を築く)

問2 基本目標2の主要施策として、(1) 相談体制の充実、(2) 情報提供体制の充実、(3) 福祉サービス提供体制の充実、(4) 災害時の連携の強化、(5) 権利擁護の推進、(6) 支援が必要な人への対応、(7) 安全な移動手段・生活の確保に取り組んでいます。これらの施策に関し、貴団体として感じておられる現状や課題、今後必要だと思われる取り組みなどについてお書きください。

《感じておられる地域の現状や課題》

NO	記述内容
1	・当事業所は、日中の通所の事業所です。休日や夕方への支援が不足しているように思います。結局は親がみることになる。
2	・実際に支援が必要だと感じたとき、まずどんなことでも受け入れる「駆け込み寺」的な場所、窓口があって、そこから適切な行政の担当部署・機関を紹介していくような仕組みがあれば良いと考えます。
3	・情報の伝達、周知の徹底をするためには、印刷物が最適と思われる。SNSも時代の流れであるが、手軽には印刷。コピー機では費用も高いし、時間がかかる。簡易印刷機(リソグラフ)が必要である。共同利用できる機械の設置を希望する。
4	・近所付き合いが少なくなっている。自治会に入会しない人が増えている。災害時に連携が取れるか。
5	・幸いなことに、災害による被害がほとんどなく、特にありません。
6	・高齢化が進んでいるのを感じる。活動に参加していただいていた方が自分だけではなく、配偶者の健康状態で活動が制約されてきたりしている。
7	・コロナのため、ほとんど活動ができませんでした。これからの進め方を探っていきたいです。
8	・障害の症状によって一般の避難所に適応できない人もいます。災害時、安心して避難できる場所の確保が課題です。
9	・人権相談においては、利用される方がほとんどないのが現状で、やはり私たちに対する信頼感の低さがあると感じています。人権擁護については、全国的な該当啓発を展開していますが、マスコミ等に取り上げられるほどの社会的な関心事ではなく、どれほど啓発に結び付いているのかと思うこともしばしばです。小・中学校の協力を得ながら、子どもたちへの働きかけもしておりますが、残念ながら浸透力が今一歩弱いのが現状です。
10	・独居家庭が増えてきた。また、夫婦内でどちらか1人になられたら施設に入られる人も多い。

NO	記述内容
11	・まだまだ町全体として防災意識が低いと考える。特に在来地域。継続して防災意識を高める施策が必要。
12	・新旧住民の意識の差が大きい。また、できるだけ関係性を持ちたくないとする住民の増加が問題。中には話を聞いてほしいと考える方もいるが、情報はネットやSNSで集まるため、必要性が低下していると思う。

【今後、町で必要だと思われる取り組み（行政への要望を含む）】

NO	記述内容
1	・基本的な「あいさつをしよう」や、サークル活動の物心両方の支え（場所の提供、補助金）があれば良い。
2	・総合案内のような部署を作り、そこから支援の必要な人と支援のできる人をつなぐ仕組みを作ってほしいと考えます。
3	・配布資料の作成に印刷機（リソグラフ）を使用してほしい。数枚で良い場合はコピー機（コンビニ）を使用しているが、数十枚の場合は時間がかかるし費用が高くなる。ボランティアグループや大字自治会で印刷する場合は、印刷費用を通常の二分の一程度とし、差額は町で補助金化する。
4	・自治会に入会してもらえよう協力
5	・最近「のるーと」の仕組みができましたが、もっと簡単に、免許証を返上した方が利用できる方法があればと思います。
6	・困り事があっても、どこに相談すればいいかわからないことがある。例えば、活動の担当者に何でも聞ける、相談できるように、職員の意識が変われば良いと思う。
7	・もっともっと気軽に相談できる体制づくりや仕組み、雰囲気づくりをお願いしたい。 ・現況に寄り添った障害福祉サービスの充実と福祉避難所の設置。
8	・町当局では、住民からの様々な相談や苦情を含めた要望等を日々受けておられると思います。けれども、人権侵害に関わるような相談については、ほとんど寄せられていないのが現状です。これは本町だけの課題ではありませんが、地域住民から気軽に相談していただけるような体制作りを、町当局とも連携して進めていく必要があると思っています。
9	・町単位ではなく、もっと小さい単位、大字や小字単位での防災訓練の実施。

■現在、貴団体で取り組まれていること／今後、貴団体でできること■

NO	記述内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てしている親同士が悩みを打ち合わせたり、相談に乗ったり、時には専門のスタッフが一緒に考え助言したりしています。親同士の支え合いのグループも今後できていってほしいです。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・旧住民と新住民との交流
3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からのマメール。テトルの導入。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・非常食作り、防災頭巾の作り方、浴衣などを再利用した介護服のリフォームなど。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・全員研修（防災や介護予防）。更女だよりを届けることで、全員に声をかけられる（励まし合い）。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・町の保護司と更生保護女性会で、香芝警察の方を招き、麻薬、詐欺についての学習会をしました。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の定例会で会員同士の情報交換と会員以外の人でも気になる人がいれば声かけをする。 ・災害時の福祉避難所の確保に向けて、町議と話し合いをしている。全国や奈良県内の福祉避難所についての調査（アンケートなど）をしたい。 ・リアリティーな災害を想定した防災研修。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員会の活動は、法的には法務局の管轄下にあるので、その枠を超えた独自の活動はできない現状で、今の活動以外の新しい活動の展開は難しいと思われます。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・日赤、警察、消防署などの団体からも来てもらい、災害についての身近な予防法を学んでもらっている。
10	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントに積極的に参加し、子どもを巻き込んだイベントを行うことで、小さい頃から防災の取り組みを定着させる。
11	<ul style="list-style-type: none"> ・細やかな訪問活動により、わたしたち民生・児童委員の存在を分かってもらい、頼れるツールとなるような関係性の提案。

◇今後、地域や住民で取り組むべきこと◇

NO	記述内容
1	・さまざまな地域福祉活動・ボランティア活動を必要な人が利用できるように、情報が手に入りやすく情報提供できる発信者になっていただきたい。
2	・自治会の行事、祭りなどへの参加
3	・日頃から災害についての意識を深めることがとても大切であり、小単位で取り組むこと。
4	・研修の中で、行政の情報をもっと知っていく。
5	・学習会の参加者から、中学生にも麻薬についての学習会をしていただきたいとの要望がありました。
6	・「人権」と聞けば、何となく堅苦しい問題だと思われる方も少なくないので、地域の方々と気軽に話し合う機会を設けることも必要だと思います。
7	・ボランティア活動やサロンへの参加者を増やす。
8	・小規模単位での防災訓練の実施。
9	・住民の顔が見えるような活動。

(3) 基本目標3 いきいきと暮らせる仕組みをつくる

(居場所づくり・交流の場づくり)

問3 基本目標3の主要施策として、(1)居場所づくり・交流の場づくり、(2)社会参加・生きがいづくり、(3)健康づくり・介護予防、(4)新たな社会資源の開発等に取り組んでいます。これらの施策に関し、貴団体として感じておられる現状や課題、今後必要だと思われる取り組みなどについてお書きください。

《1 感じておられる地域の現状や課題》

NO	記述内容
1	・町主催の「～教室」はとても良いと思います。講座数をいただければ。
2	・わざわざイベントに出向いたり、親子広場に参加したりされたりしていますが、日常的に相談できる人がいたり、ちょっと気分転換できる場があればと思います。
3	・高齢者の日課を皆で考え、作る。……勤めを終わった人たちの日課をメリハリのあるものにしたい。例)朝の歩行、体操、児童の立哨など。
4	・高齢者を対象にした交流の場への参加者は、女性がほとんどで、男性は少ないと聞いている。
5	・ボランティア活動に参加している方々は元気になる。
6	・昨今、特に新築の家が多くなり、新しく入居された方々とのつながりが全くなく、どんな方が住んでおられるのかが分からない現状もある。
7	・誰しもが様々な不安を抱えながら日々の生活を送っています。その中に、孤立や孤独に対する不安があります。そのために、心を開ける居場所を求めるのは当然のことです。けれども、参加してただ話をしたり聞いたりしているだけでは、充足感は味わえても、充実感を得ることは難しいと思います。それで、仲間と共にボランティア活動などの社会貢献を体験しようとする意識を持ってもらえるような取り組みも必要ではないでしょうか。
8	・年と共に人付き合いを縮小して家にこもっておられる人も多くなっているように思う。体育館や元気村などで趣味やいろいろな体操を経験できる場を設けてもらっていてありがたいが、やはり、友達、親しい人がいてこそ積極的にこれに参加できるので、町内で声をかけ合い、誘い合って行けるようにしたい。
9	・高齢者を中心として、自身の健康づくりや介護予防につながるサークル活動が行われています。男性を中心とした健康体操クラブ「グランパの会」、女性を中心とした「ワンハートの会」、「卓球クラブ」、「パークゴルフ練習会」、「健康マーじゃんクラブ」など。
10	・防災士ネットワークには会員 150 名程在籍しているものの、全員が参加することはまずなく、会員の意識高揚が急務である。

NO	記述内容
11	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、交流の場を作ったけれど、当初からの参加者の減少が見られ、次の世代への引き継ぎができていく。サロン等の運営側にも高齢化が生じ、プログラム等の作成に苦勞する。
12	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する人が限られている。

【今後、町で必要だと思われる取り組み（行政への要望を含む）】

NO	記述内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地区の公民館や集会所などを定期的に開放できるように、自治会長さん、区長さんに働きかけるようにしてみてもいいでしょうか。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・各大字、自治会にある公民館を積極活用することが必要。町全体での行事はさわやかホール、公民館であるが、車の運転がでない人も多いため、地域活動のために各公民館を使いやすくする。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・サロンや通いの場、また社会参加できる体制作り。出て来られる方は元気です。無関心層にどれだけアピールしていけるかが、大事だと思います。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・もっともっと公民館活動などを充実させ、アピールし、居場所づくり、健康づくり、生きがいづくりをしていただきたい。 ・障害者の医療補助を療育手帳「B」まで拡大してほしい。 ・今年からかぐや姫祭りのテント代金が一般の業者と同じ料金での参加は見直してほしい。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの方が、「いきいきと前向きに暮らしていきたい」と願っておられるので、そのための居場所や交流の場づくりは不可欠だと思います。けれども、そこに参加できる人は、健康や経済的、家族間の問題など日々の生活に大きな不安を抱えていない人たちでしょう。生活基盤が整っていない人々へのアプローチも視野に入れた施策でありたいものです。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・さっさと歩ける人、自転車に乗れる人は自発的に参加しやすいが、そうでない人たちが参加し合えて、お互いに励まし合い、希望が持てるような場がほしい。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・行政職員を含め、地域住民が参画できる垣根を超えた交流を求めます。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法へのアドバイス、資金面への助け

■現在、貴団体で取り組まれていること／今後、貴団体でできること■

NO	記述内容
1	・孤立しがちな乳幼児の子育て家庭の居場所づくりとして、毎月3つの親子広場を開催しています。
2	・まだまだ活動という程のこともしていませんので、すみません。
3	・現在、具体的な取り組みはありません。
4	・活動しているメンバーも高齢になっていますが、活動することで、自分たちの居場所を作り、高齢者支援につながっている。
5	・大体月1回は役員が集まり、活動している。町の魅力を感じてもらえるように、会員研修として町内の散策を実施した。案内を保護司さんをお願いした。
6	・育成会などどこにも所属されていない方への声かけと啓発を兼ねて、町内の行事（かぐや姫祭り、町の作品展示などでのバザー等）への参加
7	・人権擁護委員会としては、居場所づくりや交流の場づくりに関して、直接つながるような取り組みは、残念ではありますが、できない状況にあります。
8	・健康体操、童謡唱歌、昔の歌を歌う、少し脳トレというのは、毎回組み入れている。参加しておられる人の昔からやってこられたことや得意なことを一人ひとり生かせるような取り組みを考えている。
9	・居場所づくりや健康づくりについては、既に行われており、社会参加や生きがいづくりとして、地域に貢献する活動を進めている。
10	・他のボランティア団体との交流の場を作る。

◇今後、地域や住民で取り組むべきこと◇

NO	記述内容
1	・身近なところに居場所があれば行きやすいので、地域で交流できる場を作ってほしいです。
2	・各地域の公民館の積極的開放と活用
3	・お年寄りとお年寄りの交流会といえ、お年寄りが昔の遊びを教えるのが一般的であるが、子どもがお年寄りにスマホの使い方を教えるのもいいのではないか。
4	・なかよし広場に行けていたときは楽しかった。世代間交流をもっとできるようにしてほしい。
5	・民生委員さんなどが、障害者の家を定期的に訪問しては？
6	・サークル活動を通して楽しい時間を持つことも大切ですが、それを生かして社会貢献につながる活動に発展していけば、より意義深いと思います。
7	・人と人との交流の機会を増やす。
8	・社会参加としての社会貢献活動に力を入れていきたい。
9	・ボランティア団体との交流の場を作る。
10	・一緒に運営に携わってくれるスタッフの増員。

(4) 基本目標4 いのちを支える仕組みを作る(自殺対策計画)

問4 当町では、基本目標4の主要施策として、(1) 地域におけるネットワークの強化、(2) 自殺対策を支える人材の育成、(3) 住民への啓発周知、(4) 生きることの促進要因への支援、(5) 児童・生徒のSOSの出し方に関する教育に取り組んでいます。これらの施策に関し、貴団体として感じておられる現状や課題、今後必要だと思われる取り組みなどについてお書きください。

《感じておられる地域の現状や課題》

NO	記述内容
1	・やはり、幼少期の教育だと思います。現在、学校では、遊具等の禁止項目も多く、安全重視で、ちょっとした冒険のような取り組みはできていない。
2	・ひと昔前の井戸端会議のように、少しの悩みを気軽に打ち明けたりできる場があり、人がひとりで悩みを抱え込まないようにできればと考えます。地域の中でも人と人が希薄なつながりになっている今、難しいですが、場があればと思います。
3	・いじめ問題について、いじめられた方が学校へ行けない状態であるが、いじめた側の子を出席停止にしたり、隔離してカウンセリングを受けさせるシステムの導入を考えるべきではないか。
4	・宅地開発が進み、また高齢化が進み、地域の絆が弱くなっている。
5	・困っていても“SOS”を出すことすらできない方への把握と支援。
6	・町行政では、これまでも関係機関との連携も含めて、様々な取り組みをされてきておられました。人権擁護委員会としましても「人権と命を守る活動」を柱として全国的に展開してきました。けれども、広報活動が十分でないのか周知が今一步で、利用者もそれほど多くはありません。それに対して現状は、虐待やいじめを受けたりして自死を選ぶ人は年々増え続けています。やはり、第三者的に相談を受ける人が必要ではないでしょうか。
7	・子を持つ親は、仕事に家事に忙しく、子どもにゆっくり話しかける場がないと思います。幼少期に大事に育てられた子は、自分を大切にします。放課後、地域で学校から帰ってきた子を見守れる所がたくさんあったらと思います。
8	・高齢者に限らず、孤立しない、させないことが重要となります。現状では、そのような状況にある方はまだ多くないとの認識です。しかし、今後単身高齢者が増えれば、対策を講じることが必要となります。
9	・個人情報の取り扱いがあまりにも厳しく、第三者がどこまで携わっているのか分からない。患者個人の問題が大き過ぎ、家族ですら医師からの説明を聞かせてもらえず、家庭内での対応も難しい。
10	・閉じこもり等、理解が難しくなっている状態で、できるだけ目立たない見守りを心がけているが、接触ができないのが現状。委員間での情報の共有が大切だと感じている。

【今後、町で必要だと思われる取り組み（行政への要望を含む）】

NO	記述内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生方はクレーム対応をすることで閉塞感も強まっているかと思います。先生ものびのびさせてあげてほしい。必ず子どもたちにも、そののびのび感は伝わります。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの地区で、婦人会、子ども会、老人クラブ等が活動を展開されていると思いますが、活動が役員任せで負担になっています。中心で働く人の負担を軽減できるようなサポート体制を行政のリーダーシップで作し、さまざまな人たちがネットワークを作って交流できるようにしてほしいです。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ問題について、いじめられた方が学校へ行けない状態であるが、いじめた側の子を出席停止にしたり、隔離してカウンセリングを受けさせるシステムの導入を考えるべきではないか。県や国へ要望する。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独にならないように、ネットワークの網を広げていく。地域の見守り、声かけをできる人を増やしていく。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・何か困ったときに直ぐに相談できる窓口がほしい。 ・（４）生きることの促進要因への支援について、積極的に取り組んでほしい。特に退職後の男性には大事かと思います。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・相談を受ける側のカウンセラーは、相談者とは利害関係や何らかのつながりのある者は避けるべきだと言われています。もちろん、本町だけの問題ではないのですが、さほど広くない限られた地域から選出されてきた私たち人権擁護委員が、同じ地域に居住しておられる方々から相談を受けることは、相談者からしてみれば結構抵抗感があると思われます。
7	<ul style="list-style-type: none"> ・これは町というより、県、国単位のことですが、孫をお世話されているお年寄りへの応援とか同居世帯への何か援助があれば、放課後の学童利用者が減らせるのでは？
8	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの対策は、学校と家庭だけではなく、地域を含めた対応（見守り）が重要です。開かれた学校（教育委員会）となるよう努力すべきです。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報に関わる事例がほとんどになるため、共有が難しい。関係機関との連携を密にするための方法を考えてほしい。

■現在、貴団体で取り組まれていること／今後、貴団体でできること■

NO	記述内容
1	・乳幼児の親同士がお互いの思いを聞き合い、支え合えるような場を作っています。今後は親同士でグループを作っていってほしいです（既にできているグループもあります）。
2	・現在、具体的な取り組みはありません。今後、啓発活動を継続する。家庭教育、学校を利用した研修。
3	・お互いに励まし合っている。
4	・ひまわりテレフォン。地区の保護司会としては、ひまわりテレフォンで電話相談に応じている。
5	・育成会会員同士は定例会等で互いの情報交換をしている。 ・福祉関係のセミナーや大会にも参加し、社会における福祉の現状について勉強するようにしています。
6	① 「子どもの人権SOSミニレター」、「子どもの人権SOSカード」の配布 ② 「中学生人権作文」の募集及び表彰作文発表会 ③ 強化週間における「子どもの人権相談」、「女性の人権ホットライン」等の相談活動
7	・認知症、いのちについての絵本などを使っての読み聞かせをしたり、町の取り組みなどを話したりした。
8	・悩みや心配事を聞いてあげる「傾聴」に取り組んでいます。
9	・地域担当の委員間での情報共有
10	・特に活動はない。

◇今後、地域や住民で取り組むべきこと◇

NO	記述内容
1	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や身近な方々が、あいさつや、ちょっとした声かけをすることで、力をもらえenと思います。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・声かけ、あいさつ運動を展開し、あたたかい地域づくり
3	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所のちょっとしたあいさつや声かけがとても大事なので、孤立しないよう日頃から心がけたい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・地域での行事や集会在減少し、変化している昨今、新しい時代に即応した行事や集会在求められるところです。その際、スマホやパソコンをより有効に活用して工夫する必要があります。
5	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と地域との交流を増やす。
6	<ul style="list-style-type: none"> ・遠くの親戚より近くの他人と言われるように、隣近所の普段からの付き合いが孤立対策に重要です。そのような環境づくりも必要です。

(5) その他の課題について

問5 昨今、ニュース等で話題になっている社会的孤立（孤独死、引きこもり）や、虐待、ダブルケア、ヤングケアラーなどの社会的な課題への対応について、必要だと思われる取り組みは何だとお考えですか。

NO	記述内容
1	<p>・孤独にさせない→ゆるく、広くのつながり、受け皿がたくさんあれば良いと思います。そのためには、スポーツのクラブ活動、スポ少の活動数を増やす。児童館のような場所（子どもが自由に行ける場所）を作り、浅く広くつながり、フォローし合える場、勉強以外に得意が見つかる場所があればと思います。</p>
2	<p>・誰もが悩みを抱えています。その悩みを打ち明けたり、一緒に考えてくれる人が一人でもいたら救われると思います。それぞれの家庭が困ったとき、駆け込めるような場を作って、そこから必要な担当につなぐことが必要だと考えます。</p>
3	<p>・ご近所で困っておられる方がいたら、気が付いたら協力してお力になればいいと思います。</p>
4	<p>・児童相談所の職員を増員し、職員の権限を警察並みにする。 ・映画「189」を保護者に鑑賞してもらう。</p>
5	<p>・地域の人たちとの連携。孤立しないように、小さい芽のときに気づき、つながっていく人が多くなるようにしていく。</p>
6	<p>・少しでも気付いた住民が町へ相談できる取り組みが必要かと思います。 (私たちには守秘義務があつてなかなか動きがとりにくいです)</p>
7	<p>・大丈夫かな？と気になりつつも、あまり立ち入ってもと遠慮してしまいがちですが、その意識を変えていくことも大事かと…。時には「おせっかい」も必要では…です。嫌がる人もいますが…。</p> <p><個人的な経験から></p> <p>・数年前、近所の方が孤独死されました。日頃から挨拶したり、少し立ち話する程度のお付き合いでしたが、ゴミの出す日に出していないときは家の中に入って見てほしいと言われていました。たまたま、そのゴミの日にゴミを出しておられなかったので、チャイムを鳴らしても、ドアをたたいても返事無しで、アパートのオーナーさんに電話をして立ち合いのもと家に入りました。そのときはまだご存命でしたが、具合悪そうなのは一目瞭然…。救急車を呼びましょうか？と何度も勧めましたが、ご本人が望まなかった結果、未明にお亡くなりになりました。救急車はご本人が望まない限り（意識がない場合は別）呼べないらしく、ただあの日、何らかの処置を受けていれば助かったのでは…と悔いるものもあります。警察の方からは孤独死ではあるけど早い発見で、「自責の念は持たないように」となぐさめられました。民生委員さんも故人の情報を把握されていても突然のことには対応も難しいですね。</p>

NO	記述内容
8	<p>・あげられている課題の全ての取り組みが必要です。けれども、本町では、全ての課題を同時並行して対応できる規模の自治体でもありません。本町の実情もありますが、優先されるべき課題としては、人の死に結び付く可能性がより高い課題から取り組むべきだと考えます。その意味で、虐待やいじめ、孤独死などの課題があげられると思います。</p>
9	<p>・人のプライベートに踏み込まないように、とかプライバシーの権利を大事にするようになり、知らぬふりが増えてきました。やはり面と向かって話せる場、人との交流をいかにしていくべきか考えたいと思います。</p>
10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との交流 ・一人で悩まず、誰でも気軽に相談できる環境づくり ・ハラスメントに対する行政、警察との連携強化
11	<p>・担当制ではなく、皆で問題点を整理・共有し、見守り、手を差し伸べるという姿勢だと思います。自分の分野かどうかではない協力が必要だと思います。</p>

問6 その他、「地域福祉」や「福祉全般」へのご意見・ご要望等がありましたらお書きください。

NO	記述内容
1	<p>・年に1回程度、「地域福祉」や「福祉全般」をテーマに各地区公民館で懇談会を開催してはどうか。タウンミーティング。町全体では意見が出しにくい。</p>
2	<p>・身近なことから、1歩踏み出す勇気を出せるよう努力したいです。</p>
3	<p>・PTA連絡協議会は、各校、各園の取り組みについて協議する場であり、また会員に対する研修会を企画する団体ですので、ここにある問いについて直接お役に立つような活動をしておりませんので、内容が薄くて申し訳ありません。</p>
4	<p>・福祉車両の補助金や購入時の手続きについて、分かりやすくしてほしい。</p>
5	<p>・当然ですが、「福祉」を受ける権利は全ての人にあります。しかしながら、行政側の責任は大きいですが、受けるばかりで支援する人がいなければ、本来の住み良い地域社会は実現していきません。福祉を受ける側、支援する側と分けるのではなく、一人ひとりが、受ける側でもあり支援する側でもあることを、粘り強く啓発していく必要があります。</p>
6	<p>・保育園、幼稚園児とお年寄りの交流の場がたくさんあったらと思います。私の母も、小さい子を見たら元気ももらおうとよく言いますし、小さい子はお年寄りにやさしいです。</p> <p>・不審者や空き巣予防、認知症の方の行方不明などが増えていますので、町のあちこちに防犯カメラの設置をして安心・安全な町にしてほしいです。</p>
7	<p>・高齢者の両親を看取り子どもも独立しているので、母子家庭になったとき、困ったときお世話いただいて助けてもらったことを思って、現在は訪問ヘルパーの仕事をしています。高齢者の方達の中には福祉関係のことなどまだまだ知らない方もおられますので、宜しく願い致します。</p>
8	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者と健常者との交流ができる環境づくり ・高齢の方との交流 ・インクルーシブ公園の整備
9	<p>・茶話会として、書きようがないので、すみません。</p>
10	<p>・今回の記述式のアンケートでは、今までの活動の成果などの情報を資料として示して行った方が良いと感じました。</p>